

## 2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年4月24日

所属	政策情報学部	職名	教授	氏名	小林航
研究課題	公的年金制度のミクロ経済分析				
研究キーワード	世代重複モデル、労働供給、資本蓄積、在職年金	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>公的年金制度の経済効果を分析するマクロ経済モデルに所得再分配の要素を組み込んだ分析を行い、2022年度の学会で報告した。この論文は現在学術誌に投稿するための改訂を行っているところである。また、2021年度の学会で報告した論文は、海外学術誌に掲載された。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>“A Funded Pension System with Endogenous Retirement,” <i>Asian Journal of Economic Modelling</i> 10(3), August 2022, with Junichiro Takahata.</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>「自然災害と地方財政」『フィナンシャル・レビュー』第149号, 2022年11月（石田三成、大野太郎との共著）</p> <p>【学会発表等】</p> <p>「内生的退職モデルにおける公的年金の世代内再分配効果」日本財政学会第79回大会（東洋大学）報告論文, 2022年10月（高畑純一郎との共著）</p> <p>3. 主な経費</p> <p>主に書籍購入費や学会年会費等に充当した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし。</p>					

(本文は2ページ以内にまとめること)